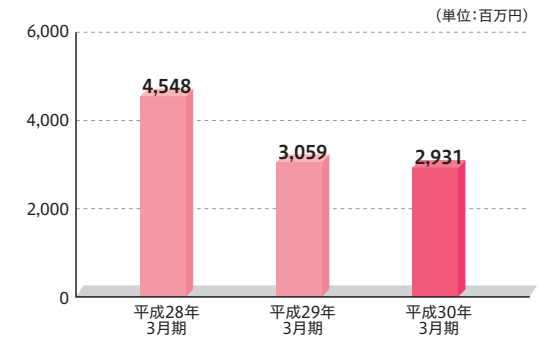


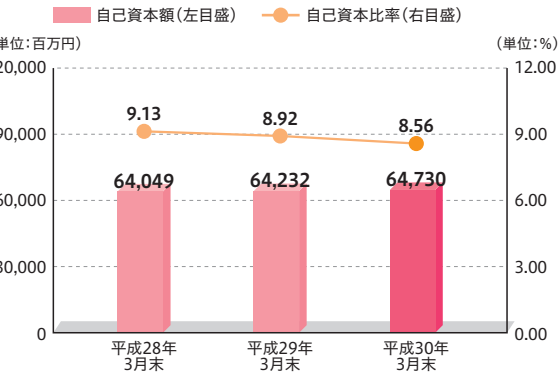
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したものの、役務取引等利益が減少したことなどから、前年同期比1億28百万円減少の29億31百万円となりました。



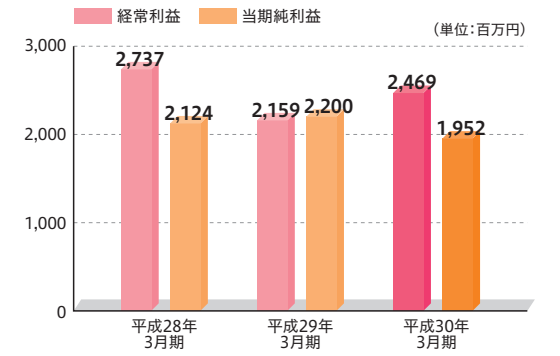
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、平成29年3月末比0.36ポイント低下の8.56%となりました。



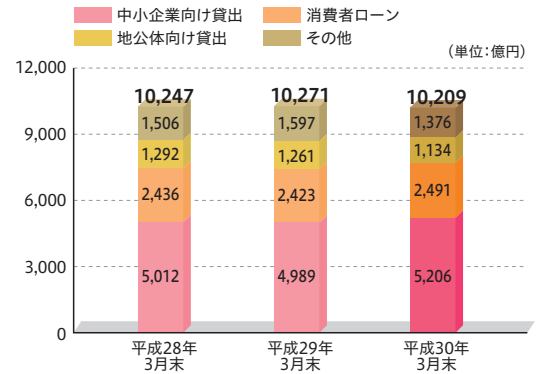
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比3億10百万円増加の24億69百万円、当期純利益は、前年同期比2億47百万円減少の19億52百万円となりました。



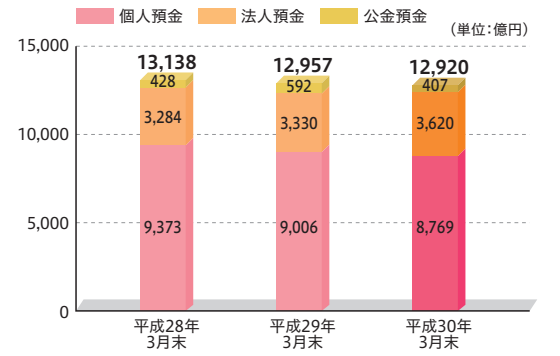
貸出金の状況

貸出金残高は、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したものの、地方公共団体向け貸出や市場性ローンを政策的に減少させてきたことから、平成29年3月末比62億30百万円減少の1兆209億61百万円となりました。



預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、法人預金は増加したものの、個人預金が増加したことなどから、平成29年3月末比37億53百万円減少の1兆2,920億11百万円となりました。

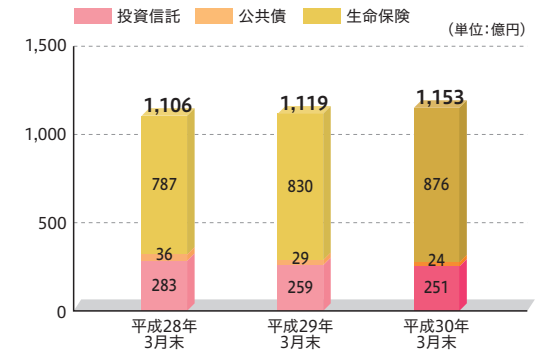


金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成29年3月末比28億26百万円減少の165億20百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成29年3月末比0.26ポイント低下の1.59%となりました。

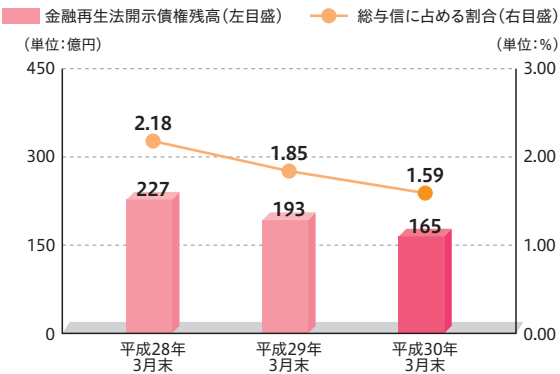
預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの保険運用ニーズが依然として高く、生命保険残高が増加したことなどから、平成29年3月末比33億82百万円増加の1,153億20百万円となりました。



(注)生命保険残高は、有効契約残高を記載しております。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



用語解説

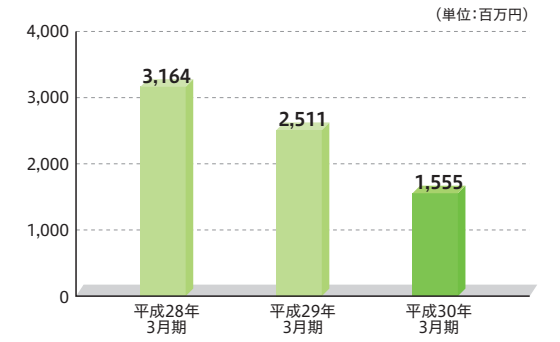
■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

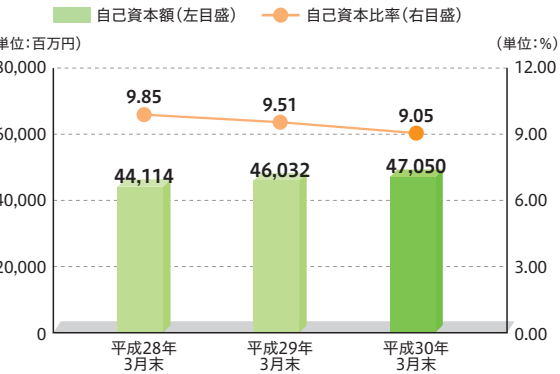
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益の減少に加え、経費の増加などから、前年同期比9億55百万円減少の15億55百万円となりました。



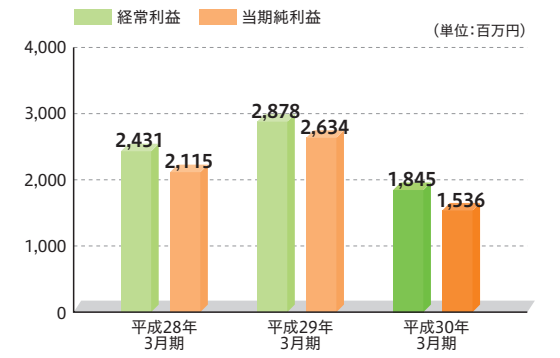
自己資本比率の状況

自己資本比率は、当期純利益を15億36百万円計上したことで自己資本額（分子）が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、平成29年3月末比0.46ポイント低下の9.05%となりました。



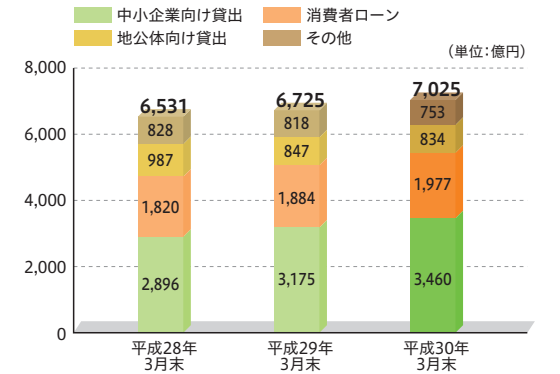
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比10億32百万円減少の18億45百万円、当期純利益は、前年同期比10億97百万円減少の15億36百万円となりました。



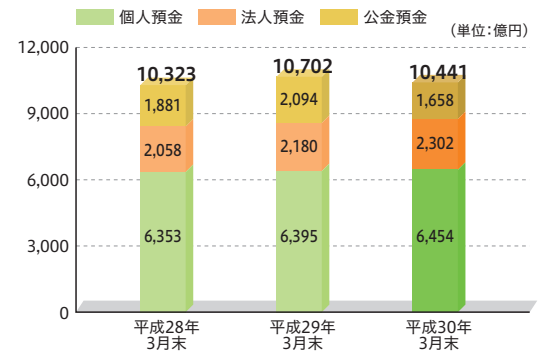
貸出金の状況

貸出金残高は、お客さまの様々な資金需要への積極的な対応により、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したことから、平成29年3月末比300億15百万円増加の7,025億77百万円となりました。



預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、法人預金と個人預金が増加したものの、公金預金が減少したことから、平成29年3月末比261億7百万円減少の1兆441億63百万円となりました。



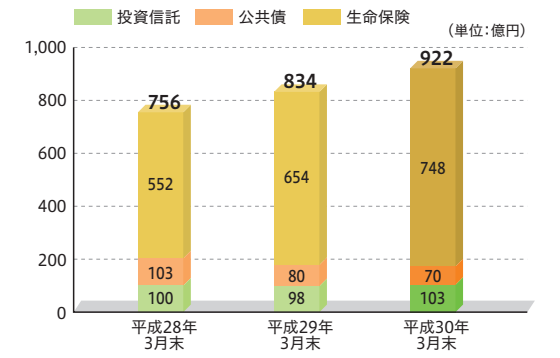
金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、リスク管理債権の回収等により、平成29年3月末比35億33百万円減少の212億78百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成29年3月末比0.66ポイント低下の3.01%となりました。



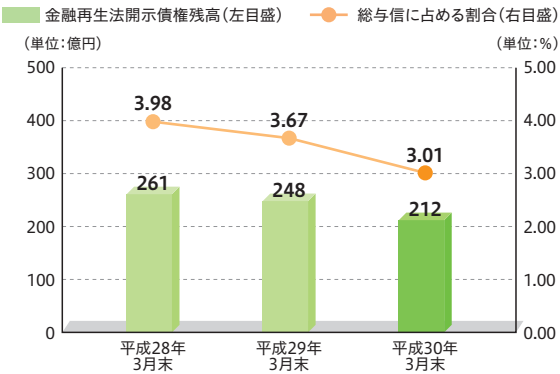
預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、生命保険残高が増加したことなどから、平成29年3月末比88億78百万円増加の922億97百万円となりました。



(注)生命保険残高は、有効契約残高を記載しております。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

用語解説
■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。